



自衛官ってどんな人達？



海上自衛隊の役割

海上自衛隊は、海上からの侵略に対し、わが国を防衛するとともに、海上交通の安全を確保することを主な任務としています。また、災害時は、艦船、航空機等を利用した物資の輸送や搜索救難を行います。さらにソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動や船舶の安全確保のための情報収集活動など海外でも活躍しています。

海上自衛隊の機能

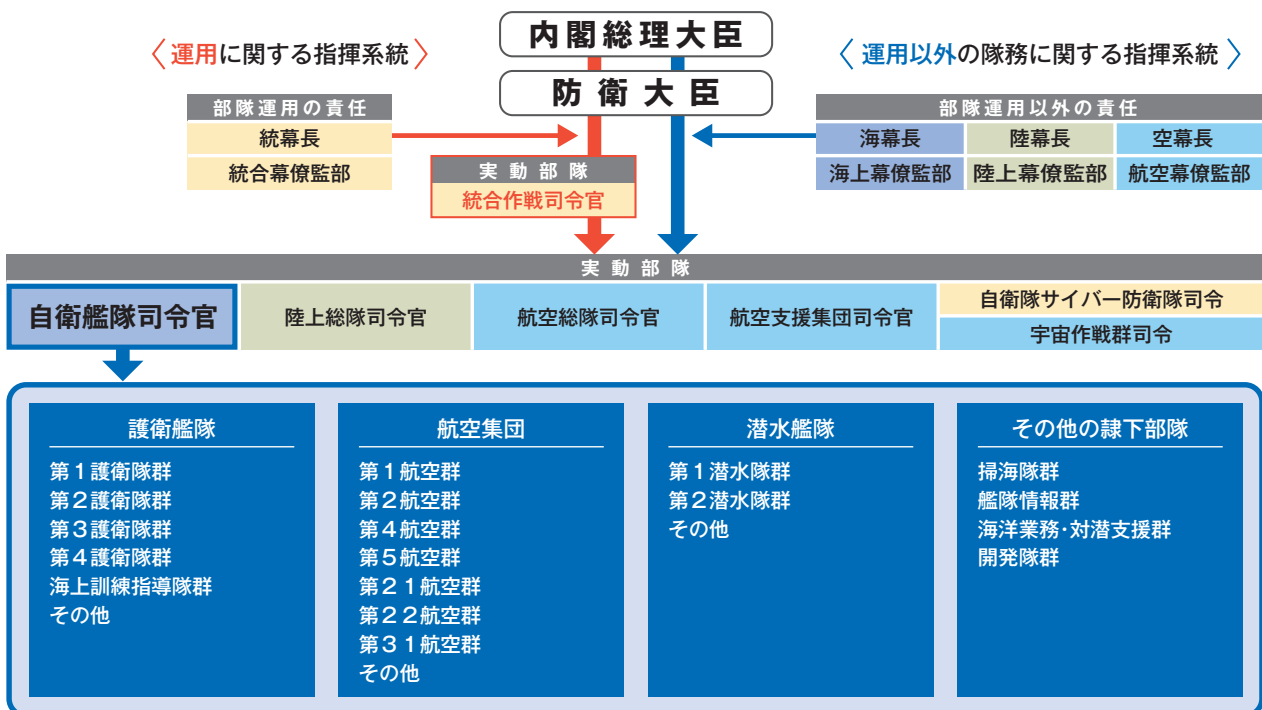
海上自衛隊の主力部隊である自衛艦隊の隷下には護衛艦隊、航空集団、潜水艦隊および掃海隊群等があります。その他、横須賀、呉、佐世保、舞鶴の各地方総監部および大湊地区総監部があり、基地機能の運用および水上部隊の支援等のさまざまな業務を行います。

自衛艦隊の使命

防衛省・自衛隊ホームページより

わが国に対する侵略事態が生起する場合の侵攻は、必ず海洋を経由して行われることとなります。また、海上交通はわが国の生命線でもあります。こうした状況から、海上防衛力には、迅速かつ容易に移動が可能な「機動性」、広範な要請に即応するための「多目的性」、目的を達成するため幅広い選択肢の提供を可能とする「柔軟性」、長期間にわたって活動することができる「持続性」、随時随所で国家主権を代表することができる「国際性」が要求され、海上自衛隊にはこれらが備わっています。

これらをもって、自衛艦隊は「国土の防衛」と「海上交通の保護」をその使命とするとともに、その使命を果たすため「安全保障環境の構築」、「統合運用・日米共同」の安定強化を柱に、わが国の防衛のため任務の完遂に務めています。



佐世保地方隊



佐世保地方隊は、戦略的要衝である東シナ海、そして、東シナ海から太平洋、日本海、そして、南シナ海へと通じる国際海峡を警備区に擁し、日本の海上防衛の最前線ともいべき「西海の護り」を主として担任しています。

また、国内でも最大級かつ最重要な作戦基盤として、南西海域等において活動する部隊がその能力を最大限に発揮できるよう、様々な後方支援を提供しています。

さらに、災害発生時に備え、平素から即応態勢を整えるとともに、自治体等との連携を強化しております。

所属部隊

佐世保地方総監部

佐世保教育隊

佐世保警備隊

DW26取材部隊

佐世保弾薬整備補給所

DW26取材部隊

佐世保造修補給所

佐世保基地業務隊

佐世保衛生隊

佐世保音楽隊

DW26取材部隊

下関基地隊

沖縄基地隊

対馬防備隊

在籍部隊

第2護衛隊 いせ はるさめ あさひ

第2護衛隊

あしがら

DW26取材部隊

第5護衛隊 こんごう あけぼの ありあけ

第5護衛隊

あきづき

DW26取材部隊

第8護衛隊 ちょうかい きりさめ すずつき はぐろ

第13護衛隊 さわぎり じんつう のしろ みくま

第1海上補給隊 はまな おうみ

佐世保海上訓練支援隊

広報推進室の紹介

佐世保地方総監部広報推進室では、海上自衛隊及び「西海の護り」を担当する佐世保地方隊の活動への理解を深めもらうため、広報活動を積極的に実施しております。特に、艦艇一般公開、移動採用広報、職場体験等を企画するとともに、イベント情報や活動の様子を随時HP「西海の護り」、SNSにて発信しています。ぜひ、ご確認とフォローをお願いします。



写真左から

2等海尉

脇山 茂

3等海佐

中村 祐一

2等海曹

田中 理

1等海曹

高本 佳典

事務官

濱本 優子

准海尉

入江 耕作

3等海曹

亀川 優香

2等海曹

大石 和昭

准海尉

石川 浩之



ホームページ



X



instagram

第2護衛隊



3
等海尉

あしがら
佐藤 日向子 25歳

職 名 水雷士(水上艦艇)
採用種目 防衛大学校
出 身 東京都(防衛大学校)

高校在学の受験シーズン時、専門的な知識を学べる防衛大学校に関心を抱き進学しました。在学中は自分が自衛官として最も輝ける場所を模索し続け、性別問わず活躍できる海上自衛隊を選びました。私が担当するのは水中捜査機器や水中武器を掌握する水雷士と、艦内の規律や風紀を監督する甲板士官。どちらも幹部として重要なことは、隊員の職務にストレスを与えないよう的確な指示を与えることです。日常的に緊張感が求められる職務ですが、発想力や企画力・実行力を遺憾なく発揮することができるため、日々やりがいを感じております。深い絆で結ばれた素晴らしい仲間たちに信頼される幹部になれるよう、これからも自己研鑽に励み続けたいと思います。



1
等海曹

あしがら
吉開 大樹 43歳

職 名 VLS(射撃)
採用種目 一般曹候補生
出 身 長崎県(佐世保北高校)

父親が海上自衛官で幼い頃から自衛官に興味を抱き、「海外留学できる部門もある」という父の言葉に背中を押されて入隊を決意しました。入隊後は主に艦内勤務で、現在はあしがらに搭載されているVLSと呼ばれる武器の保守整備に努めています。常に万全の体制で実戦に臨める状態を保つため、隊員一丸となって整備に勤しんでおります。ちなみに艦内に搭載される武器のうち、VLSを取り扱う隊員のみ海外留学が必須でした。適性に見合った職種で留学体験を得られた時、この仕事を選んで本当に良かったと感じたものです。苦労もたくさん経験してきましたが、充実した人生の礎になっているのも事実。定年まで職務を全うしていくつもりです。



海士長

あしがら
石山 駿 23歳

職 名 ガスタービン
採用種目 一般海曹候補生
出 身 東京都(埼玉自動車大学校)

父と一緒に参加した体験航海で、気づけば護衛艦の虜に。一度は自動車整備の専門学校へ進学したものの、多くの整備知識を得るうちに「この知識は艦艇整備でも役に立つのでは！」と思い、自衛官になることを決意しました。実際、艦内のガスタービンエンジンのメンテナンスでは、学んできたことが大いに役立っております。その一方で、若手の隊員は応急班として戦闘時には艦内閉鎖や浸水時の防水・消火処置も行います。不慣れな作業で不安を抱えることもありますが、目標を達成した時は自己成長の喜びを実感することができます。さらに運動や訓練の積み重ねで体力面・健康面もバッチリ。今後も強い探究心を持ちながら、自衛官として長く働きたいです。



第5護衛隊

2
等海曹あきづき
浦田 茂 33歳職 名 電子整備員、立入検査隊員
採用種目 一般曹候補生
出 身 長崎県(海星高校)

私の職種は、護衛艦に装備されているレーダー機器、無線機、空中線等を整備することです。また、立入検査員として不審船などを発見した際に、不審船に乗り移り、検査等を行います。長期間の航海で生活が大変な一面はありますが、一般の会社では味わうことのできない貴重な体験ができています。例えば、ソマリアへ海外派遣した際には、他国海軍との共同訓練に参加し良い経験をすることができました。一方、災害時には現場へ駆けつけ救助活動を行うなど、大きな責任を伴う業務ですが、人命を左右する職務にとってもやりがいを感じています。現在の目標は、様々な機器を早急に復旧させる電子整備員長になることです。

3
等海曹あきづき
森 歩実 25歳職 名 給養員
採用種目 一般曹候補生
出 身 鹿児島県(鹿屋女子高校)

鹿屋航空基地の近くで生まれ育った影響で、自衛隊員にずっと憧れを抱いておりました。中でも一番興味を持ったのが護衛艦の乗組員。現在はあきづきの給養員として、乗組員に食事を振る舞ったり、食材の調達・請求等に携わっております。艦内では火を使うことができないため、限られた環境の中で調理しなくてはなりません。さらに食材も搭載されたもの以外は使用不可。厳しい環境下で頭をフル回転させて調理する日々ですが、隊員から「おいしかったよ」と声をかけられるたびに、この仕事を選んで良かったと実感します。将来の夢は、海外派遣のような長期航海でも対応できる給養員になること。艦内業務を的確に実施すると同時に、管理栄養士の資格取得に励むつもりです。



佐世保音楽隊

3
等海曹**加藤 麻瑚** 25歳職 名 音楽員
採用種目 一般海曹候補生
出 身 長崎県(活水高等学校)

両親が自衛官で、隊員の姿に憧れを抱いていました。その後、音楽に携わる仕事にも興味を持つように。どちらも捨てがたく、2つの夢を叶えるために入隊を決めました。自衛隊には陸・海・空全てに音楽隊が設けられていますが、艦内に乗り込んで世界を巡るのは海上のみ。6ヶ月かけて11カ国を巡る海洋演習航海に参加した際には、艦艇訓練の様子や寄港する国々の文化の違いに大きな衝撃を受けたものです。そして演奏を通じて、海外の音楽隊員との交流を深めることもできました。近年では音楽隊の希望者は増えており、実は私も一度不合格となっております。それでも諦めず、再試験を受けて夢を叶えました。音楽隊に興味のある方、全力で応援します！



佐世保警備隊



2等海尉

港務隊
脇阪 圭 39歳

職 名 機関係長
採用種目 練習員
出 身 石川県(金沢高等学校)

艦艇における物品等の搭載は、基本的には艦艇内で働く部隊側の作業ですが、岸壁から別の船を用いて搭載支援を行うことも。この支援業務を行うのが港務隊の役割です。さらに艦艇の出入港の支援に加え、岸壁に設置されている港用品(棧橋など)の整備や維持も行います。また、災害時には後方支援で参加することもあります。被害に遭われた方から感謝の言葉をかけられた時は、この仕事を選んで良かったと実感したものです。そして国内の様々な場所で勤務ができるのも魅力の1つ。入隊当初は辞めたいとも思っていた私ですが、充実感のある職務、恵まれた環境と仲間のおかげで続けることができました。今後は各艦艇の機関長となり、部隊運用を円滑に進められる幹部を目指します。



海士長

陸警隊
吉田 星摩 25歳

職 名 射撃
採用種目 一般曹候補生
出 身 長崎県(波佐見高等学校)

私の仕事は基地施設の保安を維持する警備業務。当直以外にも不測の事態に対応できるよう日頃から訓練を重ね、体力錬成に勤しんでおります。当初は海上自衛官のイメージとかけ離れた業務を任され、少し不満を感じたものです。しかし訓練を通して培ってきたノウハウが災害派遣等で被災者の力になっていることを知り、この仕事に誇りを抱くようになりました。職務の充実感に加え、心の支えになっているのが様々なスポーツチームの存在です。定期的に行われる大会では大勢の隊員と交流を深め、たくさんの良い刺激を受けることができます。将来の夢は、上司や部下に信頼される隊員になること。目の前に課された職務と真摯に向き合い、日々精進したいと思います。



佐世保弾薬整備補給所



3等海曹

野口 俊索 29歳

職 名 射撃管制
採用種目 一般海曹候補生
出 身 長崎県(五島高等学校)

私の担当する誘導弾とは、一般的にはミサイルと呼ばれる兵器のことです。日常的な点検・整備はもちろん、整備時に使用する部品の調達、仕様書の作成も行います。年間を通して数多くの誘導弾整備が実施されますが、精密機器とあって予期せぬトラブルが起きてしまうことも。そのような事態も仲間と力を合わせて無事に完了させた時には、他には代え難い達成感を味わうことができます。また、職務としての充実感に加え、様々な支援を受けることができます。住居手当や通勤手当、近年では約1ヶ月の育児休業も取得可能です。目標は幹部自衛官になり、新しい武器の研究開発や維持整備に携われること。そのためにも、日々全力で業務に取り組むつもりです。



自衛隊長崎地方協力本部

自衛隊長崎地方協力本部は1個出張所、4個地域事務所、1個募集案内所、4個駐在員事務所の計10か所を各地域に設置し、本部長以下、約110名で防衛省自衛隊の広報、自衛官の募集、再就職支援及び予備自衛官等業務などの活動をしています。

本部は学生時代に歴史の授業で習った「出島」がある出島町に所在しており、目印のヘリコプターは、平成3年の雲仙普賢岳の噴火で、大規模火砕流が発生した際、自衛隊の災害派遣で活動したものを展示しています。長崎県には陸海空自衛隊の基地の他、米海軍が佐世保市に所在しており、地域住民の理解は深く良好な関係を構築しています。

長崎県の地理的特徴として、島嶼が1479で全国一の多さを誇っており、海岸線は北海道に次ぐ2番目の長さです。このため壱岐、対馬、五島列島の4か所にも広報官が駐在しています。

長崎県は軍艦島に代表される近代産業遺産群、潜伏キリスタン関連遺産の2つの世界遺産があります。また長崎港は、江戸時代に200年余り続いた鎖国から、日本が初めて開港した港の一つであり、異国文化が浸透し独自の文化が根付いています。稲佐山から長崎港を見下ろす夜景は、日本3大夜景に選ばれており、長崎県は観光地として高い人気を誇っています。



長崎県の鳥であるオシドリをモチーフにした、長崎地本公式キャラクター「ながりん」



島原城築城400周年に飛行したブルーインパルス



長崎地方協力本部の目印になるヘリコプター



公共交通機関を活用した募集広報

DATA

自衛隊長崎地方協力本部

- 住所 長崎県長崎市出島町2-25
防衛省長崎合同庁舎 2F
- 電話 095-826-8844

- HP <https://www.mod.go.jp/pco/nagasaki/>
- X <https://x.com/nagasakiichihon/>
- Instagram https://www.instagram.com/nagasaki_pco/

広報官の声

『県民とのかけはしとなる広報官』

2等海曹 山田 達也 40歳

- みなさま、こんにちは。私は長崎地方協力本部大村地域事務所に勤務している広報官です。私たちの仕事は、自衛官の仕事を知ってもらうことや、試験を受験するところから入隊(就職)までのサポートを行っています。
- 私が仕事をするうえで心がけている事は「懇切」「丁寧」「矜持を持つ」です。
- まず、自衛隊は多数ある職業の一つにすぎません。しかしながら就職先の選択は人生を左右する可能性がある選択のひとつだと思っています。
- 人生を左右する可能性があるからこそ、自衛隊に興味がある方には懇切丁寧な説明、対応を心掛けなければなりません。次に仕事をするうえで待遇、環境はもちろんのこと、やりがいも大切な要素だと考えております。自衛隊の中には多種多様な職務があり、自分が興味のある職務が必ず見つかります。また、いずれか一つの

職務が欠けると任務達成ができなくなり、一人一人が大事な戦力です。防衛の一端を担うという誇りを持つ事がやりがいにつながっていると思っています。

最後に、自衛官を目指している方、興味がある方、あるいは職業選択で悩まれている方は安心して地方協力本部までご連絡ください。そのときは私たち広報官が寄り添い、責任をもってサポート致します。一緒に勤務できる日を心待ちにしております。

